

## 逗子市文化財保護委員任命式及び

### 令和2年度第1回逗子市文化財保護委員会 会議録

日 時：令和2年7月3日（金） 午前10時～11時半

場 所：市庁舎5階 第1会議室

出席者：文化財保護委員 薄井委員長、手塚委員長代理、相澤委員、伊藤委員、持田委員  
事務局 大河内教育長、村松教育部長、佐藤教育部次長、橋本社会教育課長、  
佐藤主幹、吉田主事

傍聴者：なし

#### 逗子市文化財保護委員任命式

文化財保護委員の任命

教育長挨拶

事務局職員紹介

委員長・委員長代理の選出

（教育長、部長、次長 退席）

#### 令和2年度第1回逗子市文化財保護委員会

##### 議事概要

##### 開会

事務局挨拶、資料確認

薄井委員長 挨拶

#### 1 報告

##### （1）令和2年度文化財保護関係事業について

事務局：令和2年度文化財保護関係事業予算は、前年度と比較すると総額846万6000円の減である。文化財保護委員会経費は指定に向けた関連経費で4万2000円の増。文化財保護事業は世界遺産登録推進に係る事務の休止により58万8000円の減。埋蔵文化財保護事業は昨年度と変わらず。名越切通維持管理事業もほぼ変わらないが、まんだら堂

やぐら群公開管理を業務委託に変えて実施する。初夏は新型コロナウイルスの影響で中止したが秋は実施予定。名越切通整備事業は工事費増、委託料減で差し引き 26 万 3000 円の減。池子遺跡群保護事業はパソコンの廃棄と新規リース契約、博物館協会負担金の計上で微増。古墳整備事業は国庫補助の大幅なシーリングにより 711 万 5000 円の減。古文書事業は特に変わらず。郷土資料館維持管理事業は事業廃止、建物は緑政課へ移管された。

持田委員：名越切通維持管理事業の植生管理業務とは樹木伐採のことか。

事務局：倒木処理や年 4、5 回の除草等である。

相澤委員：古墳整備事業は 700 万も減額されて支障はないのか。

事務局：計画では令和 4 年度に第 1 号墳の整備を完了する予定だが、ここ数年積み残しが続き若干遅れている。今後計画通りに進めようとする単年度の工事費が増大するため、場合によってはしゅん工期限を更に先延ばしすることも考えられる。

相澤委員：整備事業が計画より長引くことによって、遺跡、古墳に何か影響はないのか。

事務局：遺構保存上の緊急性はない。一方で名越切通の斜面对策は防災施設整備という位置づけで今年度から整備とは別枠で満額の補助を受けている。

## (2) 市指定重要文化財の指定に係る事務の進捗について

事務局：神明社神輿について、現在、横浜国大の大野教授に現地調査を依頼しており区会とも調整を図っているが、今年はコロナの影響で例大祭も縮小し神輿渡御は行わないとのことで、今後の事務が進捗しない可能性もあるため、念のため他の候補物件も検討しておきたい。過去の調査で評価がほぼ明らかで、速やかに事務を進められるのは彫刻か絵画であり、各委員にご相談しながら指定の実現に向けて事務を進める。

薄井委員長：神輿が流動的で話が進まないのであれば、評価の固まっているものをピックアップして指定するという考え方に委員会も異論はなく、その方向性でお願いしたい。

事務局：厳しい財政状況の中、指定に伴って発生する管理奨励交付金や補助金の必要性も踏まえつつ、学術的価値や諸条件を考慮してピックアップしたい。事務局としてはできれ

ば彫刻でと考えているが。

薄井委員長：リストの中で時代的作品的に優れているのは4の十一面観音だと思う。

相澤委員：絵画は1の仏涅槃図。所有者毎の指定物件数のバランスも考える必要があり、1年に1点とするならばこれが良いと思う。

薄井委員長：十一面観音は荏柄天神で天神像と並立で祀られていたと伝えられるが、保存状態も悪くなく緊急に修理が必要な状況ではない。

事務局：仏涅槃図は現在額装になっているが、紫外線の影響等の心配はあるか。

相澤委員：画面が表出していると酸化が進行するため軸装に戻すのが一番良い。指定するのであればその点も寺と話しながら段取り等を進めていく必要がある。

薄井委員長：寺にも費用負担がかかるが、指定となると本来の姿に戻そうという意識が高まる可能性もあり、早速軸装にして二重箱を作ろうとなるかもしれない。

相澤委員：こういう話があることについて、寺に少し働きかけていくことが必要だと思う。

持田委員：リストの考古資料は所有者、管理者が市で保存処理済みとなっているが、これらは交付金や補助金的なものは不要か。

事務局：前回指定の持田遺跡出土品がこれに当たり、財政的には負担がなくやりやすい。その意味では考古の3つはいつ進めても問題ない。

持田委員：財政的な心配がないのなら、プラスアルファで複数指定してもいいのではないか。

薄井委員長：彫刻や絵画のどちらかと考古1つで2点指定するというのも1つの考え方だ。

手塚委員：鎌倉市内でも13世紀後半に入る板碑はあまりない。個人所有のものは所有者が変更したり所在不明になることが多いので、現状確認しておいた方が良い。

伊藤委員：板碑所有者の家の付近は吾妻鏡に出てくる小坂太郎の屋敷跡と伝えられ、その敷地内から出土したものである。現在も殿の井という大きな井戸が健在で、お宮、井戸、伝承と吾妻鏡、これらにより鎌倉時代前期の所縁のある場所であり、そういう点でこの板碑は文献その他との関連性も出てくる。

手塚委員：出土地がわかる重要な資料だ。一方、法性寺の題目五輪塔というのは名越のトンネル付近から出てきたものか。題目の五輪塔自体少ないから結構重要だと思う。

事務局：格子のついたやぐら（日蓮窟）の中にあり良好な状態だが、出土その他の情報については承知していない。

相澤委員：板碑の保管状況はどうか。

伊藤委員：一回拝見したことがあるが、現状では屋内に保管されていると思う。

事務局：現物を実見したことがないので、ご挨拶方々伺って確認したい。

薄井委員長：行政でも注視していることを所有者に伝えるのは大事だ。

相澤委員：1、2年指定してまた期間が開くのは良くないので、計画的に順番を考えたらどうか。所有者の意向との兼ね合いもあるので、いくつか候補を挙げて臨機応変にうまく指定にもっていければ良い。

薄井委員長：プラスアルファで市所有のものを加えてどんどん指定して、全体的にボリュームがつく方がアピール性も高い。資料を取り巻く条件が整ったところからで構わないので、順位に拘らず事務局の方で各委員の意見を受けて決めていければ良いと思う。

### （3）逗子市都市公園条例の一部改正（郷土資料館の廃止）について

事務局：令和2年第1回市議会定例会で条例改正案が賛成多数で可決、3月31日付けをもって資料館が廃止され、建物については4月1日環境都市部緑政課に移管された。現在、収蔵資料等の搬出のための整理を始めており、建物の次の利活用の検討については今度新たな情報があったら適宜報告する。

### （4）名越緑地のケイワタバコ群集について

事務局：先月市民から名越切通に近接する山中にある大規模なイワタバコ群集を保護できないかという問い合わせがあった。群集の規模は、長さ6～7m、高さ4～5mほどで、標高70m程度の緩やかに弧をなす切り立った三浦層群池子層の断崖露頭、石切場跡に、大ぶりなもので葉の長さ30cmほどのケイワタバコが密集する。立派な群集ではあるが絶滅危惧種でもなく、天然記念物指定し保存していくのは困難だと考える。

持田委員：イワタバコとケイワタバコはそれほど違いがないので、植物学的には変種扱いであ

り、三浦半島基部の逗子、鎌倉に分布するのはケイワタバコである。先に指定された神武寺のものは、『逗子市の植生』では「ミツデウラボシーイワタバコ群集」となっているが、これもケイワタバコであり修正した方が良い。この地方ですでに一カ所指定があるので、現状のままそっと保存するのが良いと思う。

事務局：この付近では以前大規模宅地開発が計画されたが、様々な経緯を経て最終的に殆どの土地が市に寄付されて緑地となっており、今後開発される可能性はほぼない。多くの人が訪れるような場所でもなく失われる危険性が高い状況ではない。

薄井委員長：現状を考えればそっとしておくのが良い。

## 2 その他

### (1) 令和2年度社会教育講座について

事務局：今年度の社会教育講座は、12月22日手塚委員、3月22日相澤委員にそれぞれ講師をお願いすることとなった。これで講師は一巡したが、今後も各委員にご協力いただきながらこのような場を設けていきたい。

### (2) 次回日程について

閉会